

## 4年 単元名「感じよう！調べよう！伝えよう！幸ヶ谷の海」(70時間)

### 1 単元設定の理由

本校では全校でESD(持続可能な社会の担い手を育む教育)に取り組んでおり、各学年・各学級においてESDの視点をもつテーマ設定を児童主体で決めてきている。4年生は市内唯一の自然浜の残る野島(横浜市金沢区)での宿泊体験学習との関連から、SDGs14「海の豊かさを守ろう」を主テーマとすることとなった。

本校は横浜駅に隣接する地域を学区としており、臨海部の高層マンション街に住む家庭も多い。目の前には横浜港が広がっており、常に海を見ている児童も多いが、その景観とは裏腹に、海への親近感、理解は高いとは言えない。目の前の海の生物多様性への理解(SDGs14「海の豊かさを守ろう」)とともに、海に隣接する自分たちのまちへの理解(SDGs11「住み続けられるまちづくりを」)の視点からもアプローチさせたい。

### 2 単元目標

身近な海に関心をもち、そこに住む生き物や環境について調べたり、自然環境保全のために活動している方々と関わったりすることを通して、身近な海の環境が自分たちの生活を豊かにしていることに気付き、環境保全のために自分たちにできることを考え、実践しようとする。

### 3 単元の評価基準

ESDとしての評価基準

身近な自然が自分たちの生活を豊かにしていることに気付き、これから先も身近な自然環境を守っていききたいという思いをもつ。

調査して分かったことや自分の考えを伝える相手にあった方法で分かりやすくまとめ、表現しようとする。

自分だけの思いではなく、周囲の人の思いや考えを受け止めて、幸ヶ谷の自然のために友達と協力しながら活動しようとする。

自然環境を保全していくために自分のできることを考え、地域の人に身近な自然のよさを知ってもらえるよう進んで働きかけようとする。

### 4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
4	「今年度のテーマについて話し合い、見通しを持とう」 ・自分たちのまわりの気になるものや興味のあるものから、総合的な学習のテーマを決める。	・「材」となるものを見つけようと、目的意識をもって地域のことについて考えているか。
22	「調べよう！幸ヶ谷の海の生き物！」 ・興味をもった生き物や場所を調べ、その成果を発表しあい、気付いたことを話し合う。 ・横浜技調の人工干潟に行き調べてみる。 ・高島水際線公園やポートサイド方面に行き調べてみる。	・主体的に幸ヶ谷の海について調べ、親しもうとしているか。 ・技調の方や地域の人と積極的にやり取りを行い、自分たちの思いや考えを伝えることができているか。
21	「育てよう！幸ヶ谷の海の生き物」 ・高島水際線公園で生き物を捕まえて飼育する。 ・生き物にとって住みやすい環境を考える。 ・野島宿泊体験学習に向けた準備、振り返り。	・水槽を生き物にとってより住みやすい環境にするために調べ、友達と協力して世話をできているか。 ・野島の自然と幸ヶ谷の海を比較し、これからの活動に生かしていこうとしているか。

16	<p>「伝えよう！幸ヶ谷の海の生き物」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長先生に海水槽に対する思いを伝え、専門家の方から海水槽をつくる上で必要なことを教えてもらい、計画を立てる。</li> <li>・ステップアップフェスティバル（学習発表会）でこれまでの活動と海水槽づくりについて発表する</li> <li>・海水槽を完成させ、飼育活動を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物が住みやすい海水槽になるように、専門家の方のアドバイスをもとに実践しようとしているか。</li> <li>・これまでの活動で知ったこと、考えてきたことを簡潔にまとめたり、分かりやすく伝えるために工夫したりすることができているか。</li> </ul>
7	<p>「繋げよう！幸ヶ谷の海の生き物」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した海水槽をお披露目して、幸ヶ谷の海のよさや自然のためにできることを伝えようとする。</li> <li>・1年間の活動を通して知ったこと、想いをガイドブックにまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水槽を使って、幸ヶ谷の海のよさを全校児童に向けて伝えることができているか。</li> <li>・自分達の伝えたいことをガイドブックにまとめることができているか。</li> </ul>
<p>外部連携 / 教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高島水際線公園愛護会</li> <li>・ハマの海を想う会</li> <li>・国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所（横浜技調）</li> <li>・ARU（海水槽）</li> </ul>		